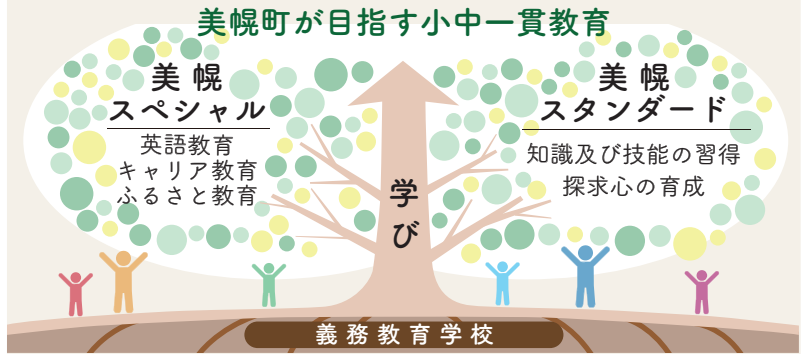


新たな学びと地域交流拠点となる義務教育学校を美幌町の皆さんと実現します

取組姿勢 美幌町が目指す小中一貫教育の特徴である**美幌スペシャル**と**美幌スタンダード**を実践でき、これからの社会の変化に対応し、永く使い続けられる子どもと町民のための「**みんなの学びの場**」を美幌町の皆さんとともにつくります。



みんなの学び場をつくるための5つの方針

方針① 施設全体を美幌町の児童生徒の学び、生活、交流を支える場としてつくります



方針② 児童生徒一人一人に対応し、多様な学びが実現できる柔軟で創造的な学習空間をつくります



方針③ 地域社会と連携し、子どもも大人も安心して学ぶことができるコミュニティスクールをつくります



方針④ 工事中の安心安全な学校運営を支える明解で合理的な工事計画とします



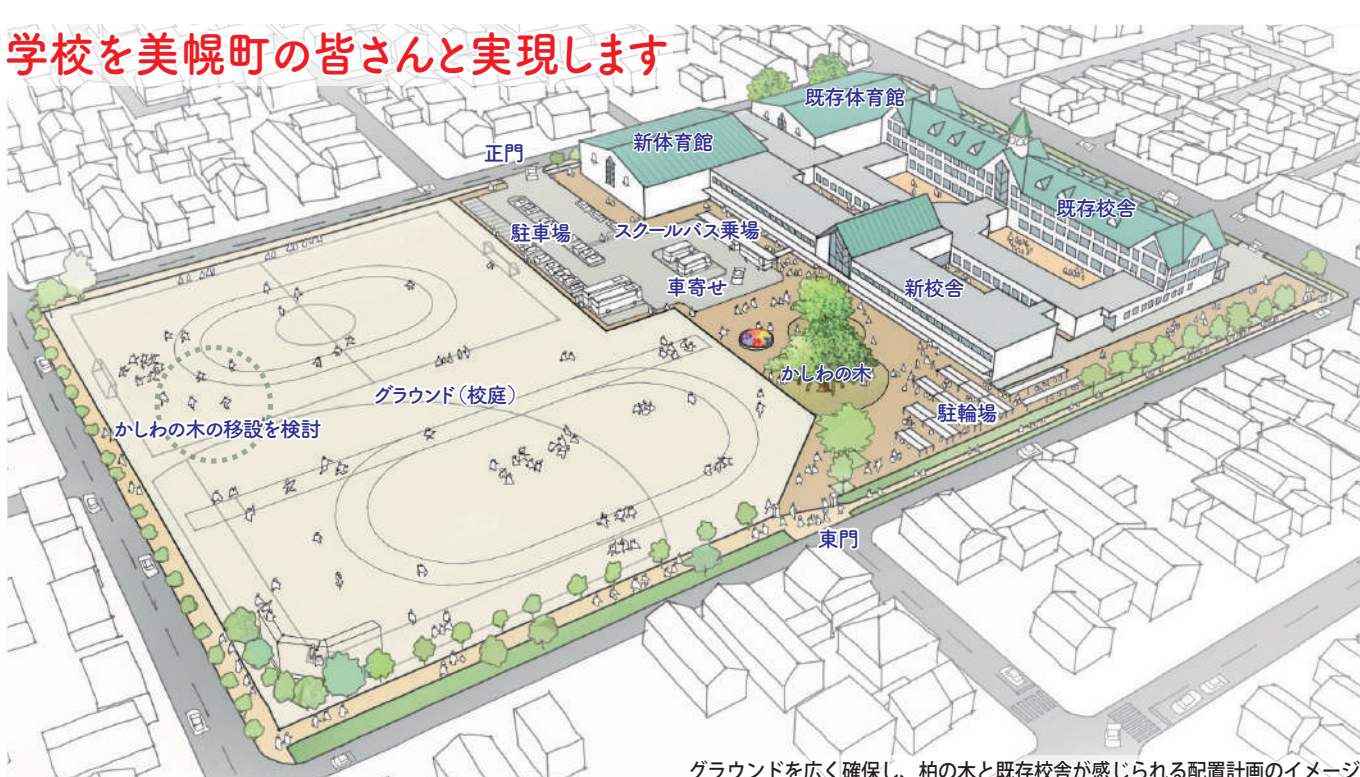
方針⑤ コンパクトで合理的な計画によりコストを縮減し、永く使い続けられる美幌の学びの拠点をつくります



取組姿勢 歴史や文化、関係者の想いを継承

既存校舎やかしわの木を最大限活かす：子どもファーストを前提としつつ、既存校舎やかしわの木に対する関係者の皆さんの想いを尊重し、最大限活用する計画とします。美幌町の皆さんが大切にしてきた想いを新しい学校づくりに継承します。

5校統合の伝統や文化を継承：統合する5校の伝統や文化をきちんと継承できる学校づくりを目指します。



工程管理 承認時期を見据えた確実な工程管理

業務期間をステップに分けた遂行計画：業務期間を4つのステップに分け、ステップ毎に合意すべき目標と成果を明確にすることで、着実に業務を遂行します。

議会承認を見据えたスケジュール管理：業務期間内に開催される議会毎に報告、承認いただけるよう、議会前に各会議で合意形成が可能なスケジュールを立案します。

決定の根拠を明確化：課題を整理・リスト化し、関係者と共有の上で着実に解決します。課題解決の際の根拠及び進捗を明確にし、もれのない課題解決を図ります。

ワークショップによる子ども・町民・教職員の意見聴取：子ども・町民・教職員とのワークショップを複数回行い、これからの学校を一緒に考え、みんなの意見を反映します。

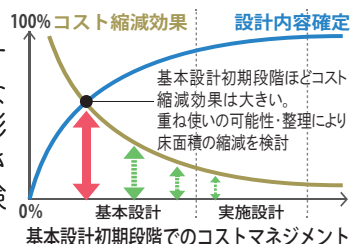
グラウンドを広く確保し、柏の木と既存校舎が感じられる配置計画のイメージ

コスト管理 物価上昇の予測と予算との調整期間を確保

建設市況を迅速に反映：多数の学校実績の工事費を基に工事費の分析予測を行い、市況を随時反映した概算作業を複数回実施し精度を高めます。

昨今の情勢を見据えた仕様の提案：中東情勢などにより納品に時間を要するものなど、豊富な取引先から都度情報を確認することで、遅延の生じにくい仕様を提案します。

基本設計でのコスト縮減検討：コスト縮減効果が出やすい設計初期に、合理的な建築計画や、床面積に影響する必要室数・室の広さなど、適切な規模設定を検討・提案します。



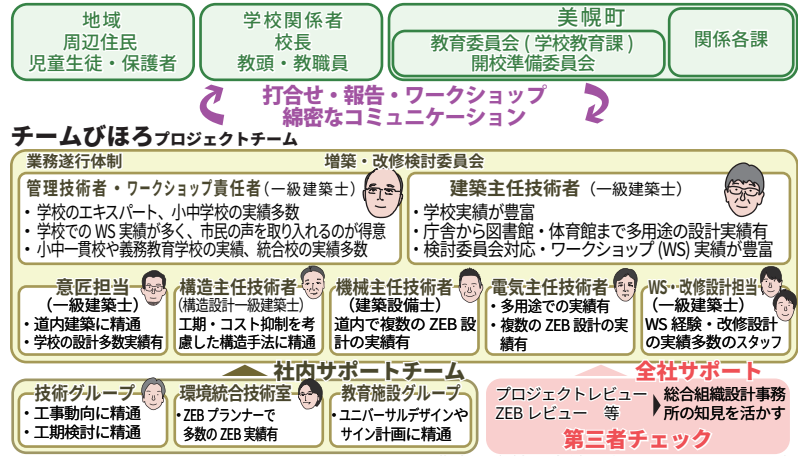
令和 8 年 (2026 年)												令和 9 年 (2027 年)												
6												7	8	9	10	11	12	1	2	3	4			
基本設計 9.5 ヶ月																								
議会	議会												議会											
開校準備委員会	議会												議会											
定例会議	○												○											
ワークショップ	WS①●報告												WS②●報告											
テーマ：学校でやりたいこと												テーマ：ソーニングゲーム												
WS③●報告												WS④●報告												
テーマ：コンセプトを考える												テーマ：コンセプトを考える												
基本設計	STEP1												STEP2											
	配置規模の検討												計画案素案・配置											
	規模・諸室 FIX												一般図 FIX											
	準備・調査																							
	法的条件・インフラ整理																							
	建物規模・諸室数検討																							
	立地特性の確認 統合する 5 校の調査 最新類似施設の調査 関係法令、条例の整理												配置検討											
	類似規模の実績の 工事費により算出												主要工事の単価動向 から中項目の工事費 により算出											
	超概算												概算①											
	品質管理 (社内レビュー)												中間レビュー											
開始レビュー												完了レビュー												
業務工程表のイメージ												業務工程表のイメージ												

実施体制 実績豊富な設計チームと専門チームのバックアップ体制

学校づくりの実績が豊富な設計チーム：義務教育学校に精通し、全国で豊富な実績を持つスタッフで設計チームを構成します。チームにはワークショップ責任者・担当を配置し、関係者との協働を支えます。また工事に精通した改修設計担当も配置します。

積雪寒冷地の知識が豊富なスタッフ配置と迅速な対応：札幌オフィスを中心に迅速な対応が可能な体制を構築します。積雪寒冷地の設計経験が豊富な設計チームが、美幌町の気候風土を適切に読み解き、この場所に相応しい学校を実現します。

社内専門サポートチームによるバックアップ体制：工事費・工事工程・環境配慮に精通した社内サポートチームのバックアップを受け、技術的な裏付けのある計画としてまとめあげ、高品質の建築を実現します。



豊富な学校の実績を有する設計チーム体制



小学校：統合校の実例 5校統合の小学校。特徴ある既存校舎に増築。全体が調和するよう外観を計画。
小中一貫校：メディアセンターの実例 普通教室・特別教室に囲まれたメディアセンターを配置。どこでも学びが誘発される計画。
大学研究棟：ZEB Readyの実例 ZEB Ready取得。汎用的な技術・設備で性能向上を図り、一般的な大学施設同等のコストで実現。

合意形成 丁寧な対話と徹底した検証に基づく合意形成

対話重視の設計姿勢：多数の教育施設の設計実績に基づく知見を活かし、関係者との対話を重視することで課題解決に取組みます。

重要項目の比較案による最適案の選定：本計画を進める上での重要な検討項目については、複数案による比較検討を行い、関係者と協議を重ねたうえで最適解を導き出します。

	開校検討委員会配置検討案	本提案	既存解体案
検討案			
かしわの木	×伐採が必要	○残すことが可能	○残すことが可能
工事工期	○予定通り終わる	○予定通り終わる	×先行して解体が必要 予定通り工事が終わる必要検討
工事中の運営	△既存改修時のゾーニングが分断される	○まとまった形で運用可能	△既存改修時のゾーニングが分断される
建設コスト	△分棟になるため、杭や仮設工事にややコストがかかる	○最小限のコスト	×解体にコストがかかる
近隣への影響	△東側に圧迫感を与える	○影響はほぼない	○影響はほぼない
南側からの既存校舎の見え方	△3階の場合、東側が見えなくなる	○現在と同様、屋根・塔が見える	×3階のため、既存校舎が見えなくなる
校庭の広さ	△やや狭い	○広く確保可能	○広く確保可能

複数案による配置計画の比較検討

無駄なくコンパクトにまとめ、工事中を含めずっと安心安全に使い続けられる学校

特定テーマ2：工事中の安全・学校運営への配慮についての提案

方針④ 工事中の安心安全な学校運営を支える明解で合理的な工事計画

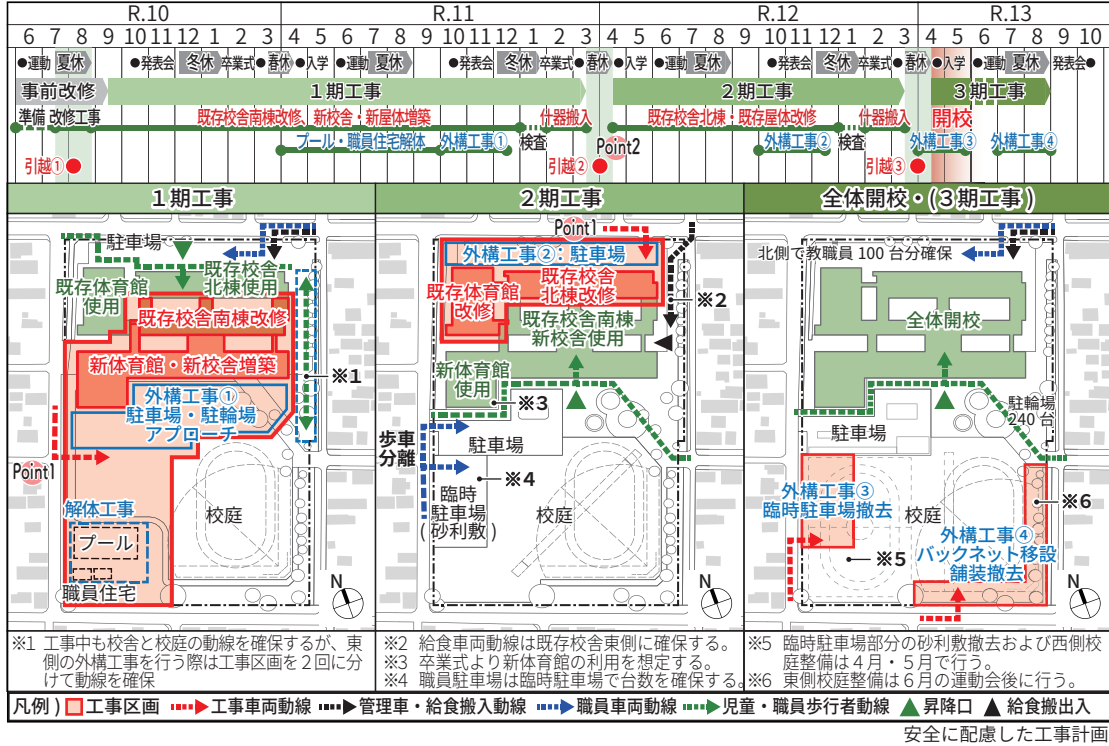
(i)工事中の生徒の安全配慮、工事車両との動線の分離への提案

合理的な工事計画による児童・教職員の安全確保

Point1 工事車両動線と児童・教職員動線の分離：工事範囲を集約し、工事車両動線と児童・教職員動線を安全に分離します。

安全な児童・教職員動線の確保：1期工事中に増築棟南側・東側の外構工事を実施することで、2期工事時の安全な児童・教職員動線を確保します。

夏休みを利用した事前改修：児童がいる令和10年の夏休みに事前改修として一部間仕切の追加や昇降口の移設工事を行います。



特定テーマ3：テーマ1及び2を踏まえた、コスト縮減と環境に配慮した学校施設整備に関する提案

方針⑤ コンパクトで合理的な計画によりコストを縮減し、長く使い続けられる美幌の学びの拠点をつくる

(i)工事費のコスト縮減に向けた具体的方策

仮設無し・解体最小化・コンパクト化によるコスト縮減

仮設校舎のない計画：耐震壁を考慮の上、既存校舎を有効活用し、仮設校舎を設けず無駄な工事費を削減します。

解体工事を最小化：配置、ゾーニングの適正化により既存校舎の解体を底・接続部のみとし、解体工事費を最小化します。

全体面積を1,500㎡程度削減：工事中の運営と引越を考慮したゾーニングにより増築規模を抑制します。

無駄な工事が無い合理的な工事計画の検討

項目	具体的な計画の例	項目	具体的な計画の例
掘削土の有効活用	・解体部分の埋戻し ・校庭への敷き均し	仕上工事効率化	・天井レス工法の採用 ・捨て貼り不要な仕上材の採用
基礎工事の負担軽減	・新体育館・新校舎屋根の軽量化で基礎を最小化 例) 木造・鉄骨屋根架構等	搬送エネルギーロスの削減	・空調機室外機を使用室の近くに配置しエネルギーロスを削減

更なる建設コスト削減のための検討提案

項目	具体的な計画の例	項目	具体的な計画の例
特別教室数の適正化	・全学年年間割から適正な教室数を算定 ・被服室と調理室、英語室と特別活動室など重ね使いを検討	体育館規模の適正化	・カリキュラムを確認し適切な規模を検討 ・地域開放における用途を確認し適切な規模を検討
普通教室の適正化	・将来の児童数から普通教室の数やクラス人数を検証し規模を検討	森林環境贈与税の一部利用	・木材購入費、保管費に美幌町の森林環境贈与税の一部充当を提案 ・工事に向けて設計段階から用意いただくよう関係各所と協議

建設コスト削減のための検討項目の例

(ii)既存校舎の学習及び運動スペースの継続利用など学校運営への配慮

既存校舎の有効活用と学校運営への影響を極力抑えた工事計画

工事中の学校運営範囲を安全に確保：既存校舎の有効利用と最小限の改修工事により仮設校舎を設けない計画とし、工事中の学校利用範囲(校舎・校庭)を安全に確保します。

Point2 学校運営に配慮した引越し計画：工事を2期に分け、学期途中の引越しをなくし学校運営に配慮します。

工事範囲の合理化で工事中の校庭を確保：1期、2期工事中は校庭東側を利用、3期工事時は東西で工期を分け工事中の校庭を確保します。



安全に配慮した工事計画

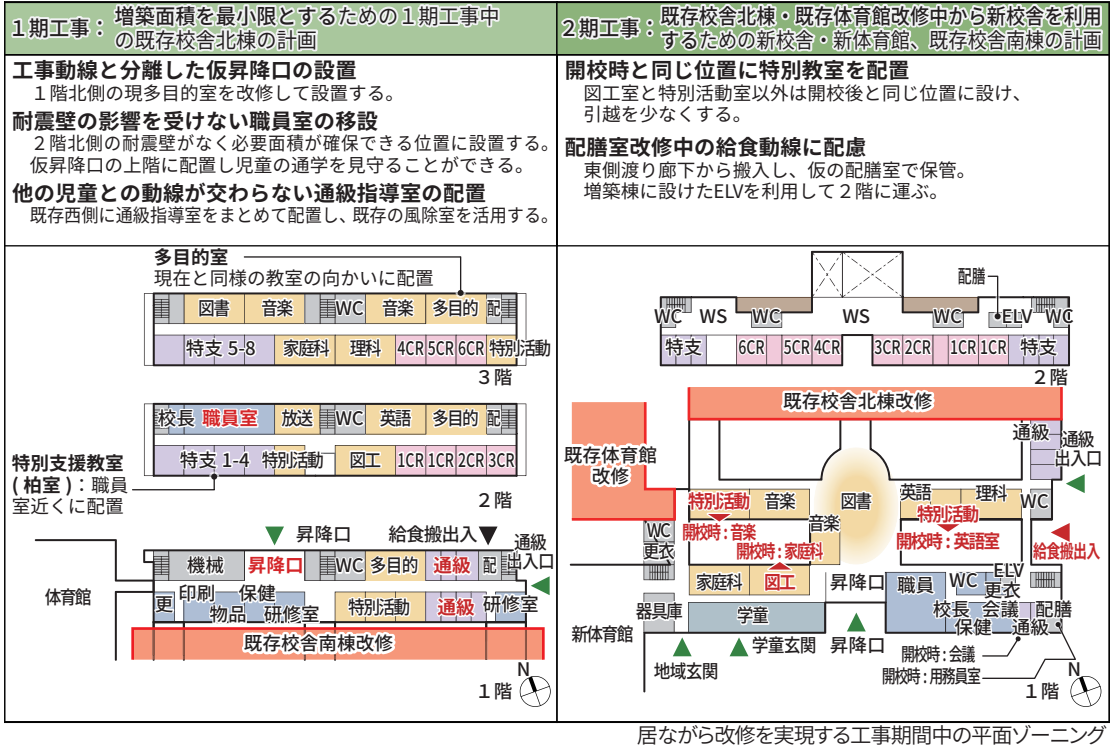
(iii)継続した学びの場の確保のための学校配置のゾーニングへの配慮

開校後の円滑な運営に配慮した工事中の校舎の利用

1期工事：既存校舎北棟と既存体育館、北側駐車場で運用します。工事に先立ち、1階北側に仮昇降口を設置することで学校エリアを明確に区分し安全を確保します。

2期工事：改修後の既存校舎南棟、新校舎・新体育館で運用します。南側駐車場、車寄せも利用可能です。

3期工事：校庭整備は6月の運動会開催に影響がでないように工期を設定します。



居ながら改修を実現する工事期間中の平面ゾーニング

特定テーマ4：その他、義務教育学校としての特性を十分発揮できる事項に関する提案

どんなときもみんなにやさしく頼りになる学校

(i)誰に対しても優しい誰一人取り残さない学校計画

利用するみんなに優しい安心安全で快適な学校

多様な働き方が可能な快適な職場環境：

- ・職員室は教職員デスクのほか、小中共同での打合せが可能なスペースを配置します。
- ・集中、作業、休憩などの多様な場所を設けます。日々の環境を選ぶ教職員デスクのフリーアドレス化を検討します。

利用する人すべてにやさしい生活空間づくり：

- ・誰もが快適に利用できるようバリアフリー及びユニバーサルデザインに配慮します。
- ・手に触れる内装・家具はできるだけ木質化を推進し木のぬくもりが感じられる施設とします。

(ii)町民をいつでも守るみんなの拠り所となる義務教育学校

災害時も安心・安全の拠り所として頼れる学校

室名	日常時	非常時
体育館	体育・部活動	避難所
地域活動室	地域活動	ボランティア拠点
校庭	体育・イベント	ヘリポート
庭	授業・課外活	物資拠点・WC等
家庭科室	家庭科・料理	炊き出し
歴史展示	美幌の歴史展示	災害情報掲載

給水	飲料水	非常用過器
排水	非常用排水槽、マンホールトイレ	
電気	非常用発電機(72時間)、太陽光発電	
食料・他	備蓄庫・毛布/ベンチ	

災害時のゾーニング例とBCP対応の例

(iii)美幌町のミライを見据えた学校の姿と学びの提案

将来の変化に柔軟に対応できる学校計画

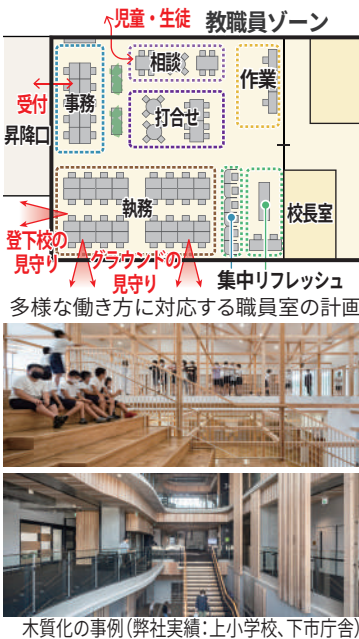
社会の変化に柔軟に対応できる更新しやすい建物

- ・少子化の進行、社会のニーズの変化に対応するため、室内に設ける設備や間仕切は必要最小限とします。
- ・教室はクラス数の変更に対応できるように可変間仕切の導入を検討します。

機能転換を考慮したゾーニング

少子化で教室数が減少した際に、教室を地域コミュニティ施設や生涯学習施設などへ容易に機能転換ができる平面計画、セキュリティ計画を検討します。

本計画の設計・工事を児童のキャリア教育に活用：工事中の状況を間近で見学することや学校のサインと一緒に検討するなど、本計画を児童のキャリア教育に活用します。

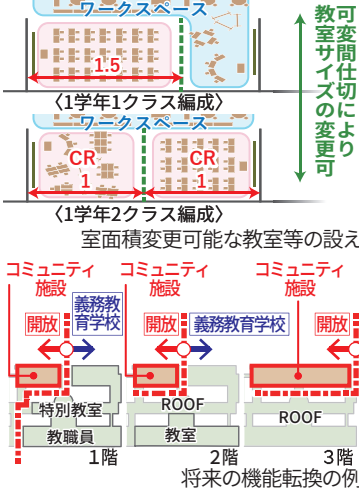


木質化の事例(弊社実績:上小学校、下市庁舎)

室名	日常時	非常時
体育館	体育・部活動	避難所
地域活動室	地域活動	ボランティア拠点
校庭	体育・イベント	ヘリポート
庭	授業・課外活	物資拠点・WC等
家庭科室	家庭科・料理	炊き出し
歴史展示	美幌の歴史展示	災害情報掲載

給水	飲料水	非常用過器
排水	非常用排水槽、マンホールトイレ	
電気	非常用発電機(72時間)、太陽光発電	
食料・他	備蓄庫・毛布/ベンチ	

災害時のゾーニング例とBCP対応の例



現場見学会の様子